

甲府西高 3年次だより



3年秋からの学習法はこれ!! 合格に向けての入試戦略を立てよう



いよいよ10月になりました。厳しかった残暑もかなり和らぎ、朝晩はだいぶ涼しくなり過ごしやすい季節となってきました。受験勉強も佳境を迎えますます力が入っていることかと思いますが、ここからの勉強はただ闇雲にやってもダメ、しっかりと目標を見据えた戦略が必要になってくる時期です。そこで今回はどんな風に戦略を立てて勉強をするべきか、3年秋からの学習法についてちょっと書いてみることにします。

この時期にやらなければならないことは**目標とのギャップを知る**ことです。そのためにまず現在自分が考えている**第一志望校の合格最低点を調べ**ましょう。例えば千葉大工学部総合工学科情報工学コースを例にとってみた場合、合格最低点は745点(1350点中)です。

● 千葉大・工学部 (総合工学科/情報工学コース) 2020年度入試(前期日程)

最高点	最低点	平均点	満点
997	745	832	1350
73.9%	55.2%	61.6%	

配点は、センター試験(450点)、個別試験(900点)の合計1350点。最低点は**745点(55.2%)**。

これをもとに**合格目標点を設定**します。目標点は合格最低点×1.1倍を目安とするので820点(約61%)となります。次にそれを入試科目全体でどう

クリアしていくか科目ごとの目標点を立てること、これが2番目となります。先の千葉大で考えた場合の一例が左の図です。これによると2次の得点を51%と見積もっているため、共通テストの得点は80%が必要になる計算ですが・・・

いずれにしてもこうして目標点が定まった時に、現在の自分の力と目標との間のギャップを模試のデータを参考にしながら検証します。

※進研模試の帳票からは科目別、分野別の得点状況、さらには志望者上位50%までの平均得点率を知ることが出来ます。

こうした分析をもとに合格に向けての学習の優先順位を決めること、これが入試戦略です。具体的には**目標とのギャップが大きく、配点が高い科目や志望大学の問題傾向から浮かび上がる頻出分野などが第1優先**となります。優先1位の科目には学習時間の半分を配分してもいいでしょう。

以上が3年秋からの学習法です。中国春秋時代の兵法家孫氏の言葉に「彼を知り己を知れば百戦殆からず」というものがあります。確かな入試戦略のもとに効率よく勉強して見事合格を勝ち取りましょう。

千葉 大学 工 学部 総合/情報工 学科・コース 前期 日程

合格最低点 745/1350 点 → 合格目標点 820/1350 点

合格最低点745点×1.1 (+75点)で目標点を設定

共通テストの配点 450 点				共通テストの目標点 360 点			
教科・科目	配点	目標点	教科・科目	配点	目標点		
英語	リーディング	100	65	地歴 地理	50	40	
	リスニング		15				
数学	I・A	100	45	理科 物理	100	45	
	II・B		35				
国語		100	75	理科 化学		40	

個別試験の配点 900 点				個別試験の目標点 460 点			
教科・科目	配点	目標点	教科・科目	配点	目標点		
英語		300	140	数学	300	155	
	検定試験	5	5	理科 物理、化学	300	160	

分野別の得点状況

科目番号・科目名	得点/配点	得点率(%)					平均点	2年2月	3年6月
		0	25	50	75	100			
2 現代文・評論	34 / 50					31.5	30 / 50	30 / 50	
3 現代文・小説	25 / 50					33.2	40 / 50	40 / 50	
4 古文	36 / 50					28.6	50 / 50	50 / 50	
5 漢文	36 / 50					28.6	50 / 50	50 / 50	

志望者上位50%までの平均得点率

同じ大学の志望者と比べて対策が必要な分野

保護者のみなさまへ

■後期のスタート、新時制でのスタートとなります。

夏休み前の通知でお知らせしてあった通りですが、新型コロナウイルスの影響を考慮して今年度の後期より授業を週当たり1コマ増やした新しい時制がスタートします。それに伴い毎週月曜日は終業時間が約1時間ほど遅くなります。これから日没がどんどん早まる季節となりますので、帰宅時間や帰宅方法について改めて御家庭でもよく話し合っておいてください。

■大学入学共通テスト出願開始

9月28日より大学入学共通テストの出願が始まりました。今年度は新型コロナウイルスによる影響を考慮した形で、来年1月16、17日が第1日程、30、31日が第2日程と2パターンでの実施となっておりますが、本校では出願するすべての生徒が第1日程での受験をすることとなりました。本日で共通テストまであと103日、ここからがいよいよ正念場です。何かご心配な点がございましたらいつでも学校まで御相談ください。

【10月の行事予定】

下記の行事予定を見て分かる通り、10月の週末はほとんど模試が入ってきます。夏休み以降の模試には全国の高校3年生や浪人生が一斉に参加してくるため、思うような成果が出ない傾向があります。ただし、ここで結果に一喜一憂している場合ではありません。模試はあくまで通過点です。本当の勝負は1月以降、そこをしっかりと見据えて落ち着いて勉強していきましょう。

※記述模試は基本的に今月が最後となります。ドッキング判定にも使われるので、万全の状態を受験できるよう体調管理にも努めましょう。

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	木	第2回定期試験	17	土	全統共通テスト模試
2	金	A 後期開校(新時制スタート)	18	日	
3	土		19	月	B
4	日		20	火	B
5	月	B きすなの日、教育実習開始、 自転車ステッカー点検実施週間	21	水	B 歯科検診
6	火	B 生徒協議会	22	木	B
7	水	B	23	金	B
8	木	B	24	土	
9	金	B 進研記述模試	25	日	全統記述模試(校内実施)
10	土	進研記述模試	26	月	A
11	日		27	火	A
12	月	A きすなの日	28	水	A
13	火	A 眼科検診(抽出)	29	木	A
14	水	A	30	金	A 進研マーク模試、第2回PTA理事会
15	木	A	31	土	進研マーク模試
16	金	A 全統共通テスト模試			

■3年次に新たに所属した先生方からの寄稿

第2回は、今年度日川高校より転任され、3年次所属となった2組担任の細野先生です。

未来に向かって

2組担任 細野 ゆかり

すっかり秋らしくなってきました。「富士山初冠雪」の便りが届き、朝晩は特に冬服が合う陽気になって、季節の移ろいを感じます。第2回定期試験が終わり、「模試の10月」が始まりました。それぞれの教科・分野の「やるべきこと」を、慌てずの一つひとつ計画的に進めて、第一志望に向かって邁進していきましょう。

ところで、みなさんは富士山に登ったことはありますか? 「富士山は『見る山』だから登らない」という人もいるそうですが、私は去年8月、小学生の2人の子どもたちと1泊2日で登ってきました。登山ガイドを読んで登山靴やリュックを実家で借りて少しずつ準備し、子どもたちは7月に大菩薩嶺に登って「練習」しました。1日目は、雲に覆われた富士山が時々姿を現すような天気で、青空が時々見える曇り空の中を進み、八合目の予約していた山小屋まで、予定より約2時間多くかかりましたが無事に到着し宿泊。2日目は青空の下、休憩を多めにとりながら進んで、吉田口山頂の久須志神社に参拝できた時には感動と感謝でいっぱいでした。子どもたちと富士山の上でおにぎりを少し食べましたが、高山病の症状があったのでお鉢巡りは見送って下山へ向かい、ザクザクと音を立てて土煙をあげながら五合目に着き、広場のアスファルトを踏んだ時には、帰ってきた、と安堵しました。

登山道から8月の残雪を見て「時知らぬ山」を思ったり、高さ5cmに満たない草花を見て逞しさを感じたりと、実際に登ってみたからわかったことが多く、近くで遠かった富士山をやっと知ることができたように思いました。山小屋で見た登山道の夜中の行列も、チップ製の再利用水式のトイレも、500ml入りの水や清涼飲料が九合目からの山小屋では500円で売っているのも、聞いてはいましたが、まさに「百聞は一見に如かず」でした。

大学生になって好きな分野の研究に没頭したり、まとまった時間に国内外を訪れてみたり、そんな未来の自分を思い浮かべて今を過ごしてほしいです。新たなステージに立つには入試という関門があります。一人で立ち向かうのは勇気が要ります。みなさんそれぞれのめざすべきステージに向かって、その「関門」を突破できるよう、共に頑張りましょう!

